

令和7年度第1回川崎市救急医療体制検討委員会 議事録

1 開催日時

令和7年8月18日（月）19時00分～19時45分

2 開催場

川崎市役所本庁舎3階306会議室

3 出席者

（1）委員（五十音順）

野口委員、伊藤委員、太田委員、邊見委員、橋本委員、谷合委員

（2）事務局

【健康福祉局】

砂川保健医療政策部長、工藤医療政策担当部長、渡邊地域医療課長、宿田係長、岩田主任

4 欠席委員（五十音順）

内海委員 原委員

5 議題

（1）休日急患診療所の今後の方向性に係る全体方針（案）について

6 会議公開状況

公開（傍聴人 0名）

7 会議内容

1、開会

（渡邊課長）

定刻になりましたので、ただ今から、第1回救急医療体制検討委員会を開催させていただきます。私は、司会進行を務めさせていただきます健康福祉局保健医療政策部地域医療課長の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。

まず、はじめに会議の開催方法等について、確認させていただきます。本日の会議は、zoomを活用したハイブリッド形式での会議です。会議における留意事項については、事前にお送りした資料のとおりとなりますので、御確認ください。

次に、会議の公開についてでございますが、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条の規定により、審議会等の会議は公開することが原則になっております。

そのため、この会議についても公開となっております。本日の会議記録につきましても、発言者の氏名を記載した上で公開とさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、本日の会議成立についてでございますが、本日は、委員8名中、2名が会場参加、4名がzoom参加、合計6名の出席をいただいております。本委員会が有効に成立していることを報告させていただきます。

なお、内海（うつみ）委員、原（はら）委員、につきましては、御欠席の旨、連絡をいただいております。

部会長につきましては、川崎市地域医療審議会条例第7条第3項において、「専門部会に部会長1人を置き、当該専門部会に属する委員の互選により定める」とございますが、どうかいかがでしょうか。

もしないようでしたら、事務局案として、川崎市医師会の野口委員に委員長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。委員の皆様、ご異議などがない方は、挙手をお願いいたします。

（異議なし）

委員の皆様、ありがとうございます。それでは、野口委員、よろしいでしょうか。

（野口委員長）

承知しました。

（渡邊課長）

委員長に、野口委員が選出されましたので、よろしくお願いいたします。以後の進行は、野口委員長にお願いいたします。

それではよろしくお願いいたします。

2、議事

（野口委員長）

委員長に、御指名いただきました野口でございます。

円滑な議事の進行に努めますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、議事を進めてまいります。

休日急患診療所の今後の方向性に係る全体方針（案）について、事務局から説明をお願いします。

（宿田係長）

（資料に基づき説明）

（野口委員長）

本日御協議いただきたいのは、「休日急患診療所の今後の方向性に係る全体方針（案）」についてでございます。全体方針としては4つございます。

- ・当該診療所の必要性
- ・老朽化対策
- ・効率的かつ効果的な運営の確保
- ・医療活動拠点機能の確保

の以上4点でございます。

伊藤先生何か意見ありますか

(伊藤委員)

方向性については特に意見はないのですが、輪番制を組んでいる耳鼻科・眼科について、患者の数が少ないときでも、薬剤師会の会員薬局の先生方は、特に手当等もなく運営しているため、実質的に赤字になっている薬局があります。そうしたことを踏まえ、今後検討し頂けると幸いです。

(野口委員長)

ありがとうございます。耳鼻科・眼科について、薬局を開いていただいているのですが、手当等なく赤字になっているところもあるという理解でよいでしょうか。

(伊藤委員)

はい。

(野口委員長)

太田先生いかがでしょうか。

(太田委員)

検討事項については、ここにあげられていることでよろしいかと思います。

耳鼻科の患者の減少については、人件費が出ないということもありまして、近隣の薬局にわざわざ開けてもらうのも忍びないということで、定点化も希望する意見もでてきているようです。検討課題にもありましたが、会員の意向をアンケートで確認することをお願いしたいです。

(野口委員長)

耳鼻科は輪番制でやると、スタッフ等の確保や患者数の減少等により、赤字になってしまうという可能性が高いということでもよろしいでしょうか

(太田委員)

はい。定点で出動すれば少なくとも赤字はなくなるかと思います。

(野口委員長)

定点化も一つの方策ということでございます。

邊見委員何か御意見ありますでしょうか。

(邊見委員)

方向性は結構だと思うのですが、私は幸区に住んでおり、インフルエンザやコロナの時も利用させていただきましたが、とにかく駐車場が少なく、診療所の前に何十台も車が停まっていたことがありました。建替えもそうなのですが、早めに駐車場を確保することができるのであれば、そういった対応も必要になってくるかと思います。

また、今後建替える場合、休日急患診療所では、現在夜間は多摩しかやっておりませんが、利用者の数をみると、多摩は昼より夜がかなり多くの患者がきており、もし他の区でも夜間をやるようになると日中に行けないサラリーマンが増えてしまうとは思いますが、機能強化ということであれば、多摩だけでなく南部でも一か所を増やすなども検討いただければと思います。

もう一点、複合化を検討するということで、災害時の医療救護活動の拠点として機能強化するということだと思いますが、災害が起こった時、かなりの患者が押し寄せると思いますが、それらも加味して、今後検討していただきたいと思います。

（野口委員）

幸は駐車場が6台しかないため、スタッフ等が車を停めてしまうと、患者が停めるスペースがなくなってしまうということだと思います。また、かなり老朽化も進んでいるため、災害時に対応できるかというのも課題だと思います。続いて橋本委員お願いいたします。

（橋本委員）

老朽化というのが気になりまして、築40年以上の診療所がありますが、耐震基準の検査は行っておりますか。

（渡邊課長）

基準については検査をしているため満たしてはおりますが、新たな長寿命化対策等について、積極的な対策はできていない状況です。

（野口委員長）

対策は行っているが、老朽化対策は不十分であるということですか。

（渡邊課長）

そういった御指摘をいただいております。

（野口委員長）

谷合先生いかがでしょうか。

（谷合委員）

質問があるのですが、まず休日急患診療所の宣伝・インフォメーションについて、市のHPには掲載していると思うのですが、それ以外に何を行っているのかというのが1点、2点目は、休日急患診療所は救急診療加算をとっているのでしょうか。紹介状がなく病院にきた場合は、加算をとることである程度患者を絞っているのですが、そういうのがなく休日加算だけでやってしまうと、昼間行けないサラリーマンが、救急でなくても押し寄せてきて、悪循環になってしまうため、どのように診療報酬を頂いているのか教えていただきたいです。

(渡邊課長)

広報については、市HPで公表しているの他に、リーフレットを各区役所や情報プラザに設置しているのと、各区で引っ越してきた人向けに配布するガイドブックや子育てガイドブックなどに掲載させていただいております。

(野口委員長)

医師会としては、「ほほえみがえし」と医師会HPで周知しております。

診療報酬についてですが、休日加算だけとっているのが現状です。谷合先生が仰るとおり、とらないとコンビニ受診になってしまう可能性があるため検討課題ではございますが、患者負担が増えますので、公共性ということを踏まえて検討していきたいと思います。

(谷合委員)

ありがとうございます。

あと伊藤先生が仰っていたように、院外薬局がないとみんな行かないです。我々は敷地内に24時間やっている薬局があるということで、みんな日医大にきてしまうという悪循環になっております。一次救急が混んでしまうと、二次、三次が手薄になってしまい、救急車を断らざるをえなくなってしまうと思います。一次救急を休日急患でやっていただけると助かりますし、地域医療としても回っていくと思います。ただ、薬局の問題は大きく、根本的な対策をこの委員会を通して考えていただきたいと持っております

(野口委員長)

日医大さんでは、一次、二次、三次受けていただいておりますが、一次の割合はどれくらいでしょうか。

(谷合委員)

一次は大体平日の夜間で20から30くらい、日曜日だと30人くらいきます。一次救急を少なくし、二次、三次をやらないと中原区、高津区の医療が回っていかないため、休日急患診療所として、絶対一次は必要だということを川崎市に言っていただきたいと思います。

(野口委員長)

準夜帯でも一次が必要という御意見でよろしいでしょうか。

(谷合委員)

はい、そのとおりでございます。

(野口委員長)

日曜も日勤帯も一次救急を受けていただいているということですね。

(谷合委員)

はい、日曜日の昼間もかなりきますので、我々の方で休日急患診療所を紹介すること多いのですが、来てしまってから休日急患診療所を紹介することは難しい。電話で問い合わせが来た場合は、休日急患診療所を案内するようインフォメーションをしております。

(野口委員長)

貴重な御意見ありがとうございました。

他はよろしいでしょうか。意見が出尽くしたということで、ご了承したということでよいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。その他、ないようであれば、本日の議事は全て終了とさせていただきます。司会を事務局にお返しします。

3、閉会

(渡邊課長)

野口委員長、委員の皆様、本日はお忙しい中、長時間に渡る審議に御協力いただき、誠にありがとうございました。

以上を持ちまして本日の委員会を終了させていただきます。